

令和3年11月27日  
新型コロナウイルス感染症対策専門員会議

## 広島県の新型コロナウイルス感染症の状況にかかる評価と提言

### 【感染状況】

- 県全体の直近1週間の新規報告者数（人口10万対）は、11月23日時点で0.4人と低い水準を維持している。
- 年代別では、30代以下が多くを占めるが、60代以上の感染も一定数発生している。
- 福山市内においては、感染者が継続的に発生していることから、積極的疫学調査を徹底し、拡大を抑えていく必要がある。
- 第5波では、ワクチン接種効果もあり、高齢者の割合は低かったが、ブレークスルー感染の事例も増えていることから、ワクチン未接種者とともに、高齢者の感染拡大に注意が必要である。

### 【レベル分類】

- 国の分科会参考指標に基づく現在の感染状況等の評価は、従来の基準ではステージIの状態にあり、新たな基準では、安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況にあることから、レベル1に相当する。

### 【対処方針の改正を踏まえた今後の対応について】

- 国の対処方針の見直しを踏まえた県の対処方針案、警戒基準値の設定やレベル分類への対応については、妥当と考える。
- 対策の実施にあたっては、ピークを低く抑えるため、レベル3に移行すると同時に国による行動制限等強い対策を講じられるよう、国への要請を早めに行っていく必要がある。その際、県全体の病床使用率50%の指標だけでなく、圏域ごとの感染状況や病床使用率の予測を行い、宿泊療養施設や自宅療養者の状況を含め、地域ごとの医療負荷の状況を注視する必要がある。
- 県民に対しては、ワクチン接種の更なる促進とともに、ワクチン接種者であっても、感染すれば他者への感染リスクは未接種者と同等であることから、引き続き油断せず感染防止対策を実施するよう注意喚起を行っていく必要がある。
- 特に、人の動きが活発となり人流が増加する年末年始に向けては、昨年の感染拡大の経験を踏まえ、改めてマスク着用や手指衛生等基本的な感染防止対策の徹底と早めの受検、受診を呼びかけることが必要である。